

令和7年度北上市市政座談会
～きたかみまちづくりトーク「WAになって話そう」～ in 江釣子

報告書

日時 令和7年8月6日（水） 午後6時から7時30分まで

場所 江釣子地区交流センター

参加者 地域参加者：51名

市出席者：14名 ※他事務局等6名

グループトークテーマ

市庁舎建設予定地、現在から未来へ

～この土地の活用についてあなたならどう考えますか？～

Aグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、交流や研修、企業誘致など多目的に使える場所にしたい、関係人口を増やすような使い方も考えたい、遊ぶ場所が少ないので大型施設があると良い、などの意見が出された。現在の庁舎は耐震改修やトイレの改修も済んでいるので、できるだけ長持ちさせるべき、駐車場や出入口が狭いなどの意見があった。
- ・周辺の環境について、まずは道路の整備を優先させてほしい、庁舎が建つなら交通の便を良くしてほしい、交通環境の整備が必要になるなどの話が出た。
- ・将来的により良いものを考えて地域の人たちの意見を聞いて進めるべきである、長期的な視点で庁舎予定地の活用を考えたい、などの意見もあった。また、地域の未来を考える上で若い人の観点が重要である、若い人たちが望む使い方をすれば、人が集まる場所になるなど、若い世代のことを考えた意見が多く挙がった。

Bグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、意識する機会が少ない、協力できることがあれば積極的に関わりたい、市役所を建てるなら住民へのアピールや協力を促す工夫が必要、庁舎建設の話は継続していると認識している、レジャーやエンターテインメント要素を兼ね備えた施設が魅力的だと思う、などの意見が出された。合併時の状況のある程度把握しているが、まちづくりの考え方も変化しているため、北上市がどう進めるかを考える必要があるという意見もあった。
- ・現在の市役所については、スペースの狭さの問題や多目的な利用が難しい、手続きが一か所ですべてできる利便性が重要という意見が出された。
- ・地域の未来を考える上で、若い世代が望む使い方や発想を取り入れることが重要である、若い人たちのためにも新しい取り組みが必要だと思うという話も出た。

Cグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、長年楽しみにしている人もいるが、財政面から厳しいと思う、庁舎にお金をかけるよりも土地の活かし方を見直しても良いのではないか、人が集まって、お金のかからない公園などの遊び場としての活用、庁舎として活用したい、ショッピングセンターや遊園地などを作る夢を持つのも良いと思う、ソーラーパネルの継続でも良いのではないか、などの意見が出された。
- ・現在の庁舎の今後を考えたときに、江釣子への庁舎建設も計画的に考える必要があるとの意見があった。庁舎の建設を考えたときに、幼稚園や保育園など子育て施設の併設や周辺の道路整備などが必要であるという意見が出された。
- ・若い人たちの意見を聞けば違う考えが出てくると思うという意見があり、若い人の意見を吸い上げる場があると良い、という感想があった。

Dグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、合併当初の約束通りに進めてほしい、近隣に住んでいてもあまり興味が持てない、周辺の土地のインフラ整備が進んでいない、現在の庁舎の耐震補強は、延命措置なのか、今後も使う想定なのか気になる、などの意見が出された。市出席者からは、太陽光発電の使用期限や現在の庁舎の耐震補強の状況について説明があった。
- ・人口減少の中で活性化を図るのであれば、イオンの集客力を活かした関連する施設、若者が集まれる集客施設や、幼稚園・保育園などの移転、消防署の建設予定地としても良かったのではないか、などの案も出た。
- ・周辺のインフラ整備や土地利用、用途地域の変更、耕作放棄地の活用、行政区の区割り変更などについても、併せて進めてほしいという意見があった。

Eグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、今後の活用方法は不確実であり、まずは道路整備が不可欠だと思う、道路整備が進めば周辺の状況が変わると思う、市役所を移転してもメリットがあるのか疑問に思う、周辺を歩くのが楽しみなので、何か施設ができれば良い、などの意見があった。道路整備が最優先だと考える、将来世代のことを考えて土地の利用を最高しても良いのではないかという意見もあった。
- ・庁舎建設に縛られず、全市的な施設や新たな公共施設の建設も選択肢ではないかという意見もあり、公園やプールなどの子どもたちが遊べる施設や、体育館や運動場などの体育施設、グラウンドなどの案が出された。
- ・合併協定の内容を尊重しつつも、地域住民への説明や意見集約、若い世代の意見なども取り入れ、今後も活用案を検討していくべきだという意見が出された。

Fグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、庁舎は街中にあるより郊外の方が便利だと思う、役所に行くついでに他の用事も済ませられる施設環境が理想、庁舎建設予定地という位置づけはまだ終わっていない、庁舎が一つに集約されると便利、庁舎の建設に反対意見も賛成意見も聞くので早く決めてほしい、などの意見があった。
- ・市役所を建設するなら、初期投資だけではなく、ランニングコストや維持管理費も考えるべきという意見が出た。また、若者のために地元に魅力的な施設が必要であり、道の駅や複合施設、観光資源としての活用案も出され、地域の魅力を高めるための具体的なアイデアが出された。
- ・若い世代にも参加してもらい意見が聞きたい、テーマをもっと周知してほしいなど、座談会についての意見も多く挙げられた。

Gグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、今の若い人たちが本当に望んでいるのか疑問に思う、高齢者の学校があっても良い、合併時に庁舎建設が約束された経緯を重視しており、約束は守るべきだと思う、ライブ会場のような施設ができれば良い、面積や具体的な経緯を知りたいなどの意見が出された。
- ・他の参加者の意見を聞いて、約束を重視している人の話が勉強になった、年齢層によって意見が分かれることを感じた、バランスを考える必要がある、みんなで話し合って新しい活用方法を考えるべき、世代や地域によって考え方や感覚が違っていると感じるなどの話しが出た。
- ・庁舎の建設については今後も話し合い等が必要になってくると思う、改めて初心に帰る良い機会だったので、こういう議論が広がれば良いと思う、などの感想があった。

Hグループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、現状を良く知らないので考えを持つのが難しい、住民の意識から遠ざかっているので議論することが第一歩、約束した以上、庁舎は必ず建てるべき、庁舎を建てないなら地主に返すべき、社会情勢が変化しているので地元の声を聴くべき、などの意見があった。
- ・現在の庁舎について、相談窓口のプライバシー確保の難しさや密集した環境、駐車場の狭さなどの問題点が挙げられ、これからの庁舎には利便性や交通環境、必要な機能を備えたものが求められるという意見があった。
- ・若い世代の意見を聴きたい、若い世代の参画が必要である、という意見が多く上がり、今後は30、40代の意見も聞きながら庁舎予定地について議論を深めたいという感想が共有された。

I グループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、道路整備が必要である、現存の施設で十分なので公共施設の新設は必要ないが、周辺のインフラ整備は必要である、工業団地や福祉施設など働けるような場所が欲しい、高齢者施設や子育て関連の施設を整備してほしい、などの意見が出された。また、大学用地としての利用や、公園、大型児童館などの子どものための遊び場という意見もあった。
- ・土地の利活用には公共交通の利便性を向上させることが必要だと思う、交通の便を良くするためにも駅が必要である、バス券の使い勝手や運転手の確保も課題だと思う、など公共交通の利用についての意見があった。
- ・子どものために考えたい、という意見が多くあり、もっと多様なテーマで対話をしたいという感想があった。

J グループ

- ・庁舎建設予定地の活用について、合併当初の約束通りで良いと思うが、予算の問題もあるのでできれば現状維持が妥当ではないか、新設に合わせて周辺道路の整備も進めてほしい、道の駅や駅の新設など、夢のある話もしてみたい、公共の場として土地を活用するという大筋は変えずにいてほしい、過去の思いを大切に、費用を無視しても市庁舎があることが重要だと思う、などの意見があった。
 - ・庁舎と交通アクセスについて、誰もが足を運ぶ場所なので、駅から遠いと不便を感じる、駅近くにこだわらなくても、生活の中で便利な場所に庁舎があると良い、公共施設は利便性の高いところに置くのが良いと思う、などの意見が出された。
 - ・庁舎ありきの発想ではなく、若い人たちが望む使い方をすれば人が集まる場所になるという感想もあり、それぞれの考えを共有した。
-

グループトークの様子



**江釣子地区の皆さま
たくさんのご参加ありがとうございました**